

第127回

平成30年春季

東京大学 公開講座

D
I
L
E
M
M
A

未来

5/
26
SAT

制度設計と技術革新の
ダイレンマ

6/
9
SAT

学術研究のダイレンマ

6/
23
SAT

地球規模のダイレンマ

※やむを得ない事情によりプログラムを
変更する場合がございます。ご了承ください。

会 場： 東京大学 安田講堂 文京区・本郷キャンパス

対 象： 成人一般・大学生・高校生 定 員 (各日)： 1,000人
受講料：【先行受付】全講義 (3日間) 一括申込5,000円 選 択 (1日) 2,000円
※先行受付のみ高校生及び東京大学の学生は無料
【通常受付】選 択 (1日) のみ2,300円 (別途発行手数料108円)

申込受付 【先行受付】平成30年4月9日(月)から
【通常受付】平成30年5月10日(木)から

申込方法 このパンフレットに記載の手順に従ってお申込みください。

お問い合わせ

- Eメール：ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
- 電話：03-3815-8345
(受付時間：平日9時～12時／13時～17時)
- <http://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/>
(東京大学ホームページ → 社会人・一般の方へ → 東京大学公開講座)
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部社会連携推進課



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

第127回 平成30年春季
東京大学公開講座



第127回東京大学公開講座
企画委員会 委員長

石田 淳
(総合文化研究科長)

開講にあたって

無数の利害関係者が立場を異にしつつ共存する人間社会の中では、特定の個人・団体の個別利益の実現と、社会全体の共通利益の実現とは必ずしも両立するとは限りません。

たとえば、現在世代のための開発も、地球温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性の喪失、酸性雨、砂漠化等の地球環境問題を深刻化させるなら、それは、将来世代のための地球環境の保護や地球規模の共有資源の保全とは両立しません。この両立しがたき2つの課題を両立させるために、環境保全にも配慮した節度ある開発としての「持続可能な開発」の理念が提唱されています。

また、エイズ(後天性免疫不全症候群)、エボラ出血熱、SARS(重症急性呼吸器症候群)など、国境を越えて広がる感染症の撲滅は国際社会の共通の利益とも言えるもので、それには、製薬企業による医薬品の研究・開発のみならず、患者に対する医薬品へのアクセスの保障も不可欠です。しかし、製薬企業による医薬品の研究・開発を動機付ける制度設計としての《知的財産権の保護》と、途上国に広がる多数の患者に安価な医薬品へのアクセスを保障することを可能にする《知的財産権の制約》とは容易に両立するものではありません。

さらに、一国の安全を確保するための軍備の増強や同盟の強化は、防衛のみならず攻撃の手段ともなりうるもので、選択された手段からその目的を正確に推論できません。それゆえに、自国の安全保障上の不安を拭いさることを意図した行動も、相手国の不安を掻き立てずには済みません。自国の不安の解消と相手国の不安の解消とが両立しない「安全保障のディレンマ」の下、守勢に立たされているという不安が、互いの不信を増幅する攻勢を生み出しているのかもしれないのです。

大学における学術研究には、このような人間社会のディレンマを自覚しつつ思慮深く行動を選択するにあたって欠かせない緻密な解析が期待されるところでしょう。しかしながら、実は学術研究も原子力の平和利用と軍事利用の例を引き合いに出すまでもなく、本来の研究目的の範囲を超えて利用されうる汎用性を持つので、それ自体ディレンマから逃れることはできません。

今回の公開講座では、「制度設計と技術革新のディレンマ」「学術研究のディレンマ」「地球規模のディレンマ」の3つのサブテーマを設定し、9名の研究者が人間社会と学術研究の「ディレンマ」をめぐり文理の枠を超えて多面的な考察を行います。どうぞご期待ください。

5月26日(土)「制度設計と技術革新のディレンマ」

12:50 ~ 13:00 開講の挨拶 企画委員長/総合文化研究科長 石田 淳

13
00
13
50

意思決定のディレンマと制度設計:東京大学進学選択制度の事例 経済学研究科 准教授 尾山 大輔

意思決定者の「ディレンマ」を考慮に入れた制度設計の分析は経済学の得意とするところで
す。今回の講義では、その事例として東京大学の進学選択制度改革についてお話しします。

14
10
15
00

医療イノベーションと規制のディレンマ 医科学研究所 講師 永井 純正

医療界における技術革新は新しい治療法や検査法として、臨床現場で応用されることが期
待されますが、その一方で、予期せぬ副作用や新たな倫理的課題を引き起こす可能性もあり
ます。イノベーションを医療応用する際の評価や規制に存在するディレンマについてお話し
したいと思います。



15
20
16
10

持続可能な開発とディレンマ:成長と保護 工学系研究科 教授 平尾 雅彦

持続可能な開発には、すべての人間が豊かな生活を享受しつつ、地球を破壊から守ることが
求められています。地球1つ分の制約の中での人間活動に内在する成長欲求と環境保護の
ディレンマと調和の道を議論します。



16
20
17
10

総括討議 工学系研究科 教授 一木 隆範

尾山 大輔 / 永井 純正 / 平尾 雅彦



6月9日(土)「学術研究のディレンマ」

13
00
13
50

科学者の社会的責任とディレンマ 総合文化研究科 教授 藤垣 裕子

最先端研究を行う科学者の社会的責任には、さまざまなディレンマが生じます。たと
えば科学者は自分が意図した成果にのみ責任を負うのか、それとも自分の意図を越えて
研究成果が社会に影響を与えた場合にも責任を負うのか。研究成果がテロに
応用される可能性をもったものだった場合、成果を公開するのか秘匿するのか。実際の事例を
もとに皆さんとともに考えてみたいと思います。



14
10
15
00

タバコをめぐるディレンマ 医学系研究科 講師 中澤 栄輔

考えてみましょう。ある町に喫茶店があります。愛煙家用の喫茶店で、20歳未満は入店禁止、
タバコを吸わない客の入店も禁止、従業員も喫煙に同意しています。町ではこのたび、屋内全
面禁煙について住民投票が行われます。さて、あなたは規制に賛成しますか? この講義ではタバコ
をめぐるディレンマを多角的に考えます。



15
20
16
10

情報セキュリティのディレンマ:暗号と量子コンピュータ 情報理工学系研究科 教授 高木 剛

暗号技術は、情報セキュリティや仮想通貨などの安全性基盤として広く利用されています。
一方、従来の計算処理量を凌駕するコンピュータの開発が進んでおり、既存暗号の危殆化が
懸念されています。本講義では、量子コンピュータの時代においても安全となる次世代暗号
の標準化に向けた研究を紹介します。



16
20
17
10

総括討議 情報理工学系研究科 教授 松尾 宇泰

藤垣 裕子 / 中澤 栄輔 / 高木 剛



6月23日(土)「地球規模のディレンマ」

13
00
〜
13
50

地球公共財の衝突——調整におけるディレンマ

総合文化研究科 教授
古城 佳子

現代国際社会では、地球公共財という概念が浸透してきています。しかし、地球公共財と認識される財同士が衝突する事例がしばしば発生しています。どちらの財を優先すべきなのか、というディレンマを考察します。



14
10
〜
15
00

温暖化で沈む環礁国のディレンマ

理学系研究科 教授
茅根 創

地球温暖化による海面上昇によって、ツバルなどの環礁国は水没しつつあると報じられています。しかし水没は、小島嶼国の経済維持と環境保全のディレンマによって起こっていることを、現地調査の結果から解説します。



15
20
〜
16
10

多民族化社会と教育のディレンマ

教育学研究科 准教授
額賀 美紗子

グローバル化の時代、外国につながる子どもが日本の学校に急増しています。多様性を包摂し、卓越性と公正性を保障する教育を私たちはどのように構想できるでしょうか。移民先進国アメリカの教育事情も紹介しながら、日本の教育における多文化共生のディレンマと展望を考えます。



16
20
〜
17
10

総括討議

総合文化研究科 准教授
武田 将明

古城 佳子／茅根 創／額賀 美紗子



17:10～17:20 閉講の挨拶

【会場へのアクセス】

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅／都営大江戸線 本郷三丁目駅／

東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅／東京メトロ南北線 東大前駅／都営三田線 春日駅



受講申込方法

先行受付

【受付期間】

4月9日(月)～5月9日(水)

【受講料】

全講義(3日間):5,000円

5月26日(土):2,000円

6月 9日(土):2,000円

6月23日(土):2,000円

※高校生及び東京大学の学生は無料

【お申込み方法】

■郵送でのお申込み

「受講申込書」を切り取り、必要事項をご記入の上、62円切手を貼って郵送でお送りください。
(5月9日消印有効です)

1 ■インターネット・携帯サイト

東京大学の公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込みください。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/>

(東京大学ホームページ→ 社会人・一般の方へ→ 東京大学公開講座)
(高校生、東大生は1.で申込み完了です。当日学生証をお持ちください。)

2 受講券と一体となった払込用紙を、ご記入・ご入力いただいた住所に郵送します。(お申込みから2週間程度でお手元に届きます。)

3 お手元に届いた払込用紙にて、お近くのコンビニまたは郵便局にて受講料をお支払ください。(払込期限までに必ずお支払ください。)

・払込用紙のミシン目の上部分が受講券となりますので、大切に保管して下さい。
・払込期限の過ぎた払込用紙は、コンビニではお支払できませんので郵便局の窓口でお支払ください。

4 当日は、払込用紙の受領書を受講券の裏に貼り付けて、会場へ持参してください。

通常受付

【受付期間】

5月10日(木)9時～各講義日16時

【受講料】

全講義(3日間):お申込みできません

5月26日(土):2,300円

6月 9日(土):2,300円

6月23日(土):2,300円

※上記金額の他、受講券発行手数料108円が必要となります。

※通常受付では、高校生及び東京大学の学生も有料となりますのでご注意ください。

【お申込み方法】

お近くのローソンまたはミニストップの店内にあるLoppiで、下記Lコードを入力し、お申込みください。



5月26日(土)Lコード:39755

6月 9日(土)Lコード:39756

6月23日(土)Lコード:39757

2 Loppiからレシートが出ますので、30分以内にレジで支払い、受講券を受け取ってください。



3 当日は、受講券を会場へ持参してください。

※Loppiの操作方法は右ページをご覧ください。

修了証書

先行受付にて全講義一括で受講を申し込まれた方が2日以上出席された場合は、ご希望により修了証書を交付します。詳細は講義当日配付の「講義要項」でご確認ください。選択で2日間申し込まれた場合は修了証書の交付できません。

通常受付で3日間受講した場合も修了証書は交付できません。

よくあるご質問

Q「 難易度はどのくらいですか? 」

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。講義内容は、全体的には初心者から多少専門知識を有する方向けの内容となりますが、各講師の最先端の研究内容を連携させ構成されています。従って、専門的な知識を持つ方に対する内容も含まれます。

Q「 受講資格・試験などはありますか? 」

ありません。どなたでも参加できます。

Q「 事前に申込みをしていませんが、受講できますか? 」

全国のローソンまたはミニストップ店内にあるLoppiで受講券を購入することができます。

Q「 休講する場合がありますか? 」

台風などの荒天や交通機関のストライキ、インフルエンザの流行などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですがお電話でお問い合わせください。また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学Webサイトに掲載いたします。なお、上記の事由により休講となった場合は、可能な限り振替講座を行います。が、事情により開催できないこともあります。いずれの場合も、交通費・宿泊費等は補償できません。

Q「 講座の内容を録音・録画・撮影することはできますか? 」

講座の録音・録画・撮影等は、固くお断りいたします。すべての講座ではありませんが、およそ半年後に東大TV(<http://today.tv/>)でご視聴できます。

Q「 払込用紙の支払期限を過ぎてしまいましたが支払はできますか? 」

コンビニでの支払はできませんので、ゆうちょ銀行の窓口でお支払ください。支払期間内でも、ゆうちょ銀行のインターネットバンキングでのお支払はできません。

Q「 申し込みましたが受講券・払込用紙が送付されません。 」

お申込み後、2週間以上経過しても届かない場合は本部社会連携推進課までご連絡ください。

Q「 受講券を紛失しました。 」

先行受付でお申込みされた方は、本部社会連携推進課までご連絡ください。
通常受付で受講券をご購入された方は、再度ご購入ください。

Q「 友人や家族の分を申し込むことはできますか? 」

先行受付ではお申込み後、受講者へ受講券・払込用紙を郵送しますので、原則、受講されるご本人がお申込みください。

お問い合わせ

東京大学本部社会連携推進課

Eメール ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

TEL 03-3815-8345

受付時間：平日9時～12時／13時～17時